



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 鈴茂器工株式会社

上場取引所 東

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 美奈子

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 志賀 融

TEL 03-3993-1371

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日 2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,486	6.2	919	20.1	920	31.1	683	112.4
2020年3月期	8,930	9.1	765	10.5	702	0.9	321	△31.4

(注) 包括利益 2021年3月期 702百万円 (146.9%) 2020年3月期 284百万円 (△16.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	105.76	—	5.7	6.5	9.7
2020年3月期	49.85	—	2.8	5.2	8.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △3百万円 2020年3月期 △68百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,694	12,198	82.9	1,890.64
2020年3月期	13,830	11,654	84.2	1,800.33

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,184百万円 2020年3月期 11,641百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,245	△344	△184	7,342
2020年3月期	660	△356	△275	6,603

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	129	40.2	1.1
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	128	18.9	1.1
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		20.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	5.4	930	1.2	930	1.0	630	△7.8	97.76

(注) 当社は、2022年3月期より通期業績予想のみの記載に変更しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	6,480,000 株	2020年3月期	6,480,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	35,598 株	2020年3月期	13,762 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	6,461,987 株	2020年3月期	6,453,121 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	8,163	4.2	683	19.1	754	21.3	593	96.8
2020年3月期	7,835	7.5	573	9.9	622	9.8	301	△23.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	91.81	—
2020年3月期	46.72	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	13,936		11,839		84.9		1,837.14	
2020年3月期	13,239		11,378		85.9		1,759.62	

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,839百万円 2020年3月期 11,378百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

当社の個別業績予想につきましては、2022年3月期より開示を省略いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
(1) 代表者の異動	13
(2) 取締役候補者の異動(内定)および執行役員制度の導入	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年となりました。製造業は、新型コロナウイルス感染症からいち早く回復した中国向け輸出の増加等により、総じて回復基調が持続しましたが、個人消費関連業種では、度重なる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」による営業自粛等の影響により厳しい状況が続きました。今なお、新型コロナウイルス感染症が収束する見通しが立たない中、企業の景況感は二極化する状況となっております。

このような環境の下、当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外食・中食産業における設備投資計画の見直しや企業活動の停滞による影響があった一方で、事業者及び最終消費者の衛生意識の高まり、テイクアウトやデリバリーといった外食産業の構造変化に伴う省人化の動きが加速し、そのような新たな需要の取り込みに注力してまいりました。

国内は、大手回転寿司チェーンを中心としたテイクアウト用の容器に搭載された寿司ロボットの需要拡大、巣ごもり需要を追い風にスーパーマーケットにおける海苔巻きロボット等の入替による販売拡大、食堂・レストラン業態を中心としたご飯のセルフ化に伴うご飯盛付けロボット（Fuwarica）の製品需要が伸びました。加えて、アルコール製剤を中心とした衛生資材の需要が拡大した結果、国内売上高は前連結会計年度を大きく上回りました。

海外は、世界各国におけるロックダウンや渡航制限等の経済活動への制限が強く、東南アジア地域における売上高は低迷したものの、北米、欧州、東アジア地域における海苔巻きロボットを中心とした寿司ロボットの販売が回復基調で推移し、海外売上高は前連結会計年度を上回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、94億86百万円（前連結会計年度比6.2%増）と前連結会計年度を上回る結果となりました。国内・海外別の売上高の内訳は、国内売上高が72億64百万円（同7.7%増）、海外売上高が22億21百万円（同1.8%増）となりました。

当連結会計年度の概況

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		増減額 金額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	8,930	100.0	9,486	100.0	555	6.2
国内	6,748	75.6	7,264	76.6	516	7.7
海外	2,182	24.4	2,221	23.4	39	1.8
売上総利益	4,244	47.5	4,394	46.3	149	3.5
営業利益	765	8.6	919	9.7	153	20.1
経常利益	702	7.9	920	9.7	218	31.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	321	3.6	683	7.2	361	112.4

売上総利益は、新製品開発に伴う金型投資や生産管理システムへの投資といった中長期的な先行投資を行ったものの、売上高の増加により、43億94百万円（同3.5%増）と前連結会計年度を上回りました。

営業利益は、売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費が前連結会計年度と同水準で推移したことにより、9億19百万円（同20.1%増）と前連結会計年度を大きく上回りました。また、経常利益も9億20百万円（同31.1%増）と前連結会計年度を大きく上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、売上高の増加に加え、当社の完全子会社であった北海道鈴茂販売株式会社を吸収合併したことに伴う抱合せ株式消滅差益41百万円を特別利益に計上したことにより、6億83百万円（同112.4%増）と前連結会計年度を大きく上回りました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億64百万円増加し146億94百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7億39百万円、建物及び構築物（純額）が1億6百万円増加したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円増加し24億96百万円となりました。これは主に、買掛金が2億24百万円、未払法人税等が90百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ5億43百万円増加し121億98百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により1億29百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益により6億83百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億39百万円増加し73億42百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益9億62百万円、減価償却費3億25百万円等による資金の増加の結果、12億45百万円の資金の増加（前連結会計年度比5億85百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3億80百万円等による資金の減少の結果、3億44百万円の資金の減少（前連結会計年度比12百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払1億29百万円、自己株式の取得による支出31百万円等による資金の減少の結果、1億84百万円の資金の減少（前連結会計年度比91百万円の増加）となりました。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症による影響については、ワクチン接種が始まったものの、感染力の高い変異株の広がりが懸念されるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主要顧客である外食・中食産業においては、インバウンド需要の減少や、企業活動の制限等の影響が引き続き想定されるものの、巣ごもり需要の継続や、外食産業におけるテイクアウトやデリバリーの拡大、非接触ニーズの高まりによる機械化の進展、業態転換といった動きが、さらに広がっていくものと考えております。

このような状況の下、国内においては、スーパーマーケットや寿司業態を中心とした省人化ニーズの取り込みや、ご飯盛付けロボット（Fuwarica）における病院、介護施設、ホテル等の新たな市場開拓に向けた製品開発や販売強化に取り組んでまいります。海外においては、テイクアウトやデリバリーの拡大に伴う省人化ニーズの取り込みに向けた製品開発や、販売・サービス網の再構築等による米飯市場の創造と拡大に取り組んでまいります。

この結果、通期の連結業績予想といたしましては、売上高100億円（前連結会計年度比5.4%増）、営業利益9億30百万円（同1.2%増）、経常利益9億30百万円（同1.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億30百万円（同7.8%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,603,707	7,342,853
受取手形及び売掛金	1,256,943	1,321,992
電子記録債権	—	16,709
たな卸資産	1,808,445	1,801,579
その他	84,652	85,595
流動資産合計	9,753,748	10,568,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,195,686	3,376,969
減価償却累計額	△1,809,392	△1,883,980
建物及び構築物(純額)	1,386,293	1,492,988
機械装置及び運搬具	78,197	82,670
減価償却累計額	△27,611	△38,016
機械装置及び運搬具(純額)	50,586	44,653
工具、器具及び備品	1,585,725	1,800,687
減価償却累計額	△1,423,493	△1,561,169
工具、器具及び備品(純額)	162,231	239,517
土地	1,125,607	1,125,607
建設仮勘定	76,208	—
その他	—	12,503
減価償却累計額	—	△9,071
その他(純額)	—	3,431
有形固定資産合計	2,800,927	2,906,199
無形固定資産	208,309	205,053
投資その他の資産		
投資有価証券	496,516	411,383
繰延税金資産	396,576	439,481
その他	182,637	172,558
貸倒引当金	△8,680	△8,680
投資その他の資産合計	1,067,049	1,014,743
固定資産合計	4,076,287	4,125,996
資産合計	13,830,036	14,694,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	244,255	468,338
未払金	192,788	128,935
未払費用	146,978	148,041
未払法人税等	141,609	231,658
未払消費税等	69,861	68,321
賞与引当金	168,906	175,749
その他	146,078	161,066
流動負債合計	1,110,478	1,382,112
固定負債		
繰延税金負債	777	965
役員退職慰労引当金	7,425	8,765
退職給付に係る負債	995,657	1,035,616
その他	60,721	69,206
固定負債合計	1,064,581	1,114,552
負債合計	2,175,060	2,496,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	9,606,827	10,160,882
自己株式	△22,043	△52,202
株主資本合計	11,722,162	12,246,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,215	99,568
為替換算調整勘定	△2,388	△38,752
退職給付に係る調整累計額	△150,657	△122,820
その他の包括利益累計額合計	△80,831	△62,004
非支配株主持分	13,644	14,006
純資産合計	11,654,975	12,198,060
負債純資産合計	13,830,036	14,694,726

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,930,153	9,486,060
売上原価	4,685,386	5,091,604
売上総利益	4,244,767	4,394,456
販売費及び一般管理費	3,479,140	3,475,279
営業利益	765,627	919,177
営業外収益		
受取利息	1,363	941
受取配当金	2,795	1,695
受取手数料	935	1,347
受取保険金	1,430	1,674
助成金収入	1,405	6,858
その他	3,311	4,572
営業外収益合計	11,240	17,089
営業外費用		
支払利息	—	370
手形売却損	30	192
売上割引	1,701	2,312
為替差損	1,348	4,886
譲渡制限付株式関連費用	159	3,321
持分法による投資損失	68,867	3,843
その他	2,475	557
営業外費用合計	74,583	15,484
経常利益	702,284	920,782
特別利益		
投資有価証券売却益	935	—
固定資産売却益	592	—
保険解約返戻金	33,739	—
抱合せ株式消滅差益	—	41,516
特別利益合計	35,267	41,516
特別損失		
固定資産除却損	24,213	174
役員特別功労金	150,000	—
特別損失合計	174,213	174
税金等調整前当期純利益	563,337	962,124
法人税、住民税及び事業税	247,325	345,003
法人税等調整額	△8,215	△67,147
法人税等合計	239,110	277,856
当期純利益	324,226	684,268
非支配株主に帰属する当期純利益	2,546	868
親会社株主に帰属する当期純利益	321,680	683,399

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	324,226	684,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,397	27,353
為替換算調整勘定	△4,327	△27,342
退職給付に係る調整額	14,011	27,837
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△9,526
その他の包括利益合計	△39,713	18,320
包括利益	284,513	702,588
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	281,927	702,226
非支配株主に係る包括利益	2,586	362

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,154,418	982,960	9,387,360	△3,544	11,521,193	121,612	4,638	△164,669	△38,418	—	11,482,775
当期変動額											
剰余金の配当			△129,541		△129,541						△129,541
親会社株主に帰属する当期純利益			321,680		321,680						321,680
自己株式の取得				△122,359	△122,359						△122,359
自己株式の処分			△1,222	103,860	102,638						102,638
連結範囲の変動			28,550		28,550						28,550
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	△49,397	△7,027	14,011	△42,413	13,644	△28,768
当期変動額合計	—	—	219,467	△18,498	200,969	△49,397	△7,027	14,011	△42,413	13,644	172,200
当期末残高	1,154,418	982,960	9,606,827	△22,043	11,722,162	72,215	△2,388	△150,657	△80,831	13,644	11,654,975

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,154,418	982,960	9,606,827	△22,043	11,722,162	72,215	△2,388	△150,657	△80,831	13,644	11,654,975
当期変動額											
剰余金の配当			△129,324		△129,324						△129,324
親会社株主に帰属する当期純利益			683,399		683,399						683,399
自己株式の取得				△31,105	△31,105						△31,105
自己株式の処分			△19	946	926						926
連結範囲の変動					—						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	27,353	△36,363	27,837	18,827	362	19,189
当期変動額合計	—	—	554,054	△30,158	523,895	27,353	△36,363	27,837	18,827	362	543,085
当期末残高	1,154,418	982,960	10,160,882	△52,202	12,246,058	99,568	△38,752	△122,820	△62,004	14,006	12,198,060

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	563,337	962,124
減価償却費	192,410	325,716
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,642	6,842
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56,722	80,081
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,343	1,340
受取利息及び受取配当金	△4,158	△2,637
支払利息及び手形売却損	30	562
持分法による投資損益 (△は益)	68,867	3,843
有形固定資産売却損益 (△は益)	△592	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△935	—
保険解約返戻金	△33,739	—
役員特別功労金	150,000	—
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△41,516
売上債権の増減額 (△は増加)	△135,272	△34,486
たな卸資産の増減額 (△は増加)	99,246	2,708
仕入債務の増減額 (△は減少)	△165,939	184,065
未払費用の増減額 (△は減少)	△407	1,618
未払消費税等の増減額 (△は減少)	65,064	△3,093
未収消費税等の増減額 (△は増加)	45,153	1,541
その他	28,588	3,626
小計	924,677	1,492,337
利息及び配当金の受取額	4,158	2,795
利息の支払額	—	△370
手形売却に伴う支払額	△30	△192
役員特別功労金の支払額	△150,000	—
法人税等の還付額	26,810	1,808
法人税等の支払額	△145,027	△257,857
持分法適用会社からの配当金の受取額	—	7,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	660,588	1,245,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6,189	△5,864
投資有価証券の売却による収入	2,612	—
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△162,932	△380,711
有形固定資産の売却による収入	1,710	—
無形固定資産の取得による支出	△78,559	△54,655
関係会社株式の取得による支出	△250,509	—
貸付けによる支出	△10,000	—
貸付金の回収による収入	1,450	1,662
差入保証金の差入による支出	△8,009	△3,443
差入保証金の回収による収入	12,419	4,084
保険積立金の積立による支出	△5,152	△4,839
保険積立金の払戻による収入	148,795	0
その他	△2,083	△512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356,448	△344,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△23,995	△23,672
配当金の支払額	△129,541	△129,324
自己株式の取得による支出	△122,359	△31,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,896	△184,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,078	△21,611
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,165	695,627
現金及び現金同等物の期首残高	6,503,270	6,603,707
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	75,271	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	43,517
現金及び現金同等物の期末残高	6,603,707	7,342,853

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、米飯加工機械関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,800.33円	1,890.64円
1株当たり当期純利益	49.85円	105.76円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	321,680	683,399
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	321,680	683,399
普通株式の期中平均株式数(株)	6,453,121	6,461,987

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 代表者の異動

該当事項はありません。

(2) 取締役候補者の異動（内定）および執行役員制度の導入

当社は、2021年4月14日開催の取締役会において、下記のとおり取締役の異動（内定）ならびに執行役員制度導入を決定いたしましたのでお知らせいたします。なお、取締役の異動につきましては、2021年6月29日開催予定の定時株主総会、取締役会において決定いたします。

1. 取締役候補者（2021年6月29日付）

取締役候補者の氏名

鈴木 美奈子	(重 任)
谷口 徹	(重 任)
高橋 正己	(重 任)
高橋 昭夫	(重 任)
橋本 泰	(重 任)

5名の取締役候補は、任期満了に伴う異動（内定）となります。

高橋正己氏、高橋昭夫氏、橋本泰氏は社外取締役となります。

2. 執行役員制度の導入

(1) 導入の目的

経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、取締役および取締役会の役割を経営方針の決定ならびに経営の監督に集中させるとともに、執行役員の業務執行の責任を明確化し、その体制を強化するため、執行役員制度を導入するものであります。監督と執行の分離を図ることにより、ガバナンス体制を一層強化して参ります。

(2) 執行役員候補者の氏名および役職

氏 名	現 役 職	新役職（執行役員）
鈴木 美奈子	代表取締役社長	社長
谷口 徹	専務取締役	専務執行役員
中村 健司	取締役 営業本部長	執行役員 営業本部長
村瀬 康宏	取締役 海外事業本部長	執行役員 海外事業本部長
金井 俊男	取締役 生産本部長	執行役員 生産本部長
志賀 融	管理本部長	執行役員 管理本部長
秋田 一徳	経営企画部長	執行役員 経営企画部長

(3) 就任予定日

2021年6月29日